

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

“休みの日、何をして楽しもう？”湧ゆう湧くわく体験塾～チューリップフェアボランティア～

5月13日、体験塾ではチューリップフェアのボランティア活動を行いました。数年ぶりに行動制限のない中でのチューリップフェア、好天に恵まれ多くのお客さんで賑わいました。塾生は、チューリップの「球根掘りのお手伝い」と、記念撮影の「シャッター押します」の2つのグループに分かれて活動しました。



学校も学年も異なる子供たちが班になり、お客さんに「いらっしやいませ」「球根のバケツ持ちますよ」「よろしかったら、シャッター押しますよ」など積極的に声をかける姿が見られました。お客さんが多かったこともあり、あっという間に予定の時間が過ぎていきました。

たくさんの“ありがとう”とともに「お手伝い、頑張っ！」といった励ましの言葉も多くいただきました。普段、なかなか体験できない学校外の“社会”とのつながりを実感できる良い機会になりました。体験塾ではこれからも、地域の特性を生かした体験を通して、地域の皆様とのつながりと塾生同士の交流の輪を広げる活動を進めていきます。



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう～高齢者教育推進目標～

“みんなで運動!!”チューリップ生きがい大学もチャレンジデーに参加しました。

チャレンジデーは、日常的に運動・スポーツを楽しむきっかけづくりを目的に全国一斉に実施される住民総参加型のスポーツイベントです。今年は全国で67の自治体が参加し、地域住民の皆様が楽しみながら運動に取り組めるように、ラジオ体操やウォーキング、各種イベントの実施や、スポーツ施設の無料開放などが行われました。

チューリップ生きがい大学も、町地域包括支援センターが主催する「大筋クラブ」に参加しました。「生きがい大学」の学生と「大筋クラブ」のクラブ員が一緒になって健康体操に取り組みました。一般社団法人地域ウエルネス・ネットの中村和之氏を講師に迎え、普段動かすことのない場所を動かしたり、姿勢をよくするためのストレッチ、座ったままや椅子を使ったストレッチなど、自宅で気軽に取り組める運動に取り組みました。講師の先生からは、笑うことが病院での投薬の何日分にもあたる健康増進の効果があるというお話がありました。みんなで楽しく体を動かした後は心なしか、姿勢がよくなり笑顔が増えたように感じました。

チューリップ生きがい大学は、60歳以上の町民が、月1回の割合で学生の希望を生かした自主的な学習活動を進めています。入学を希望される方は教育員会社会教育課（5-3132）までお問い合わせください。



明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

誰よりも速く!! かけっこ教室が開催されました。

5月20日に、教育委員会が主催するかけっこ教室が上湧別百年記念公園で開催され、小学校、義務教育学校の児童50人が参加しました。

講師には、全日本実業団体陸上選手権100メートルの部で優勝経験がある、一般社団法人A-bank北海道の仁井裕介さんを招き、午前は低学年、午後からは高学年に分かれて学年に合わせた教室を行いました。午前の部は、チャレンジスポーツスクールも兼ねて行われ、一般参加者と共に教室に参加しました。

教室の内容として、「四足歩行」や「しゃがみ歩き」、「ケンケン」や「スキップ」など、レクリエーションを混ぜながら子どもたちが楽しめる教室となっており、自宅に戻ってからも自分で練習ができるような内容となっていました。

参加した児童たちは、教わる前とは見違えるように速く走れるようになり、「練習が楽しかったし、速くなった。教えてもらったことを意識して、運動会で1位を取りたい。」と、意気込んでいました。

午 前 の 部



午 後 の 部



“健康は楽しく!正しく!”トレーニングスクールが始まりました

トレーニングスクールは、健康維持増進、運動不足解消等を目的に教育委員会が主催しています。令和5年5月から翌年3月まで（毎月2回から3回程度）専門のインストラクターによる指導が無料で受けられます。

申込みの案内や日時等については、毎月かわらばんやホームページにて周知しています。

ぜひお気軽にご参加ください。



[町ホームページ]



5月のスクールの様子



「ハレーエッセイ」社会教育委員さんのある一日 第151回

私は、今年で教員生活30年目です。初任校が中湧別小学校です。私は、北海道に来る前はずっと東京でした。北海道に住んでから、いろいろなカルチャーショックを受けました。

当時、子ども達に好きなものと聞かれ、「お赤飯」と答えたが、家庭訪問でもらったお赤飯を食べてびっくり!めちゃうちゃ甘かった。お風呂に入ったら、ダンゴムシらしき虫を見つけ、つついても丸まらず、北海道のダンゴムシは丸まらないんだと思って次の日、職場で言ったら「それ、わらじ」と言われて笑われる。電話の応対で、教頭先生が、「もしもし、中湧別小学校〇〇でした」と言われるので、なぜ過去形?と不思議に思う。「じょっぴんかったか?」と聞かれて「?」がうかぶ。家電をどこで買えばいいか聞いたら、隣町の遠軽と言われたので、休みに歩いて遠軽に向かうが、行けどもつかず。あきらめて途中からバスに乗る。東京での隣町は歩いていける距離。後日、遠軽からタクシーで帰る機会があり、数千円もかかって、さらに驚く。

今、上小校長として赴任3年目。当時の教え子の子が上小に通っていたり、教え子が社会教育委員だったり、外部講師だったり、その他いろいろな場面で再会があり、そのたびに、ほんわかします。現在、上小45人の子どもたち。彼らが大きくなっての再会も楽しみです。

社会教育委員 佐上 義朗

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

図書館に色をつける！

学校に届ける本を選んでいた時のこと。ふと棚から取り出した本が「がたたんたん」という絵本でした。「がたたんたん」という言葉からも連想できますが、列車が出てくるお話です。ちょっと、語りはじめの文章を紹介します。

「でんしゃにのると しらないひとばかり。 しらないひとどうして みんな しらんかおの つめたいかお。 でもね、こんなことがあると しらんかおの ほっぺが ぽっと あかくなって……………」

はじめ、列車に乗り合わせた人たちは、「しらんかおの つめたいかお。」絵本では全員、冷たいグレーで表現されています。ところが、ちょっとした出来事をきっかけに、冷たいグレーの人たちに、ぽっと、色がつきます。心がふれあい、相手を知ったからです。そうです！「知る」ことで、今まで「ただ見えていた」ものに色がつくのです！そんな体験、みなさんもしたことないでしょうか？ ということで、「図書館にも、色をつけなくっちゃ！」

今後も図書館を知ってもらうため、いろいろと図書館を紹介していきます。よろしくお願ひします。



令和5年度「絵本くらぶ」に入会しませんか！

図書館では、0歳から3歳までのお子さまがいらっしゃるご家庭に、毎月、絵本セット（5冊）をご自宅まで宅配する「絵本くらぶ」というサービスを行っています。ロングセラーの名作絵本をはじめ、ご家庭で「楽しいひと時を過ごせるよう」バランスよく選定しています！ぜひ、ご入会ください。

【宅配サービス期間】 ◆入会月から令和6年3月

【対象】 ◆0～3歳(令和2年4月1日以降生まれ)のお子さまがいらっしゃるご家庭(町内)

【申込先・連絡先】 ◆中湧別図書館、湧別図書館

【その他】 ◆こんな方におすすめです！

- ◆子どもにどんな絵本を読んであげたらよいか、悩んでしまう。
- ◆子どもが小さいので、図書館でゆっくり絵本を選べない。
- ◆自分の好みで絵本を選んでしまうので、違う絵本に出会いたい。

7月の図書館休館日

7月3日(月曜日)、10日(月曜日)、17日(月曜日)、24日(月曜日)、31日(月曜日)

*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10:00～18:00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150
lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】 2週間

湧別図書館 電話 5-3122
lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化財シリーズ68
「町内の遺跡 14」

身近な場所に遺跡!? (信部内)

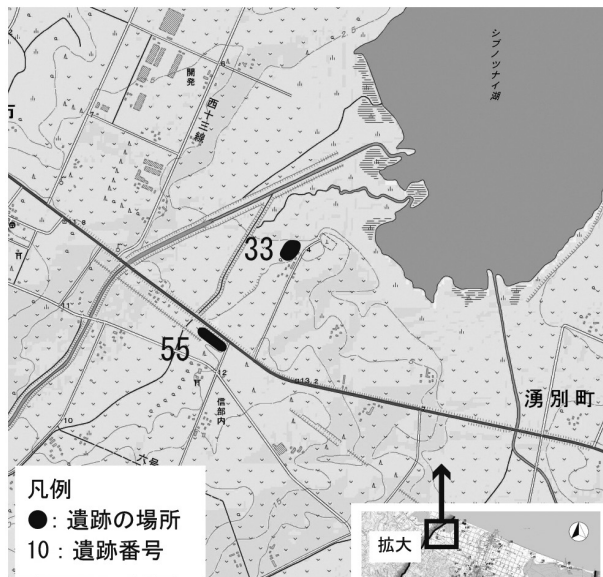
博物館だより
—ふるさと館 JRY・郷土館—
【第161号】

遺跡は、みなさんのお住まいや普段利用する道路の近くなど意外と身近なところにあるものです。今回は信部内にある遺跡をご紹介します。これで町内の57遺跡を地区ごとに紹介するシリーズは最終回となりますが、新たに遺跡が発見された場合にそのつどご紹介します。

信部内では2か所で遺跡が確認されています(右図)。これらの遺跡の特徴は、縄文文化の資料が豊富に見つかっていることです。特に、右図33番のシブノツナイ遺跡(シブノツナイ竪穴住居群とは異なる遺跡)では非常に変わった特徴をもつ土器が見つかっており、見つかった遺跡の名前をもとに「シュブノツナイ式土器」と名づけられています(下図2点)。

この土器の特徴は「刺突文(しとつもん)」と呼ばれる文様があることです。棒状の工具を突き刺すようにして文様を施したことから、そう呼ばれます。同様の文様を持つ土器は、縄文文化前期(6,000～5,000年前)の北海道東部で広く確認されています。

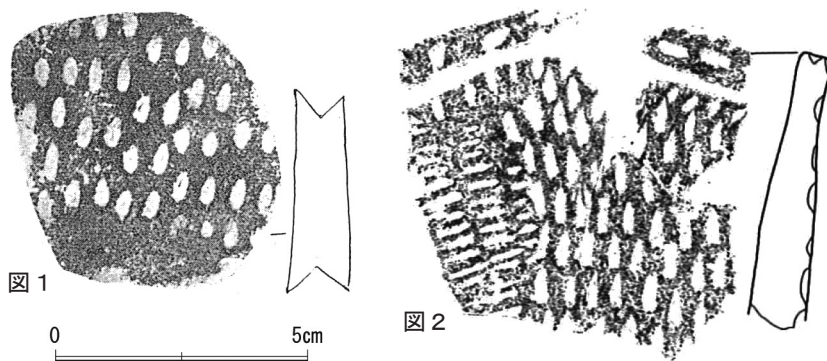
シブノツナイ2遺跡は、国道の拡幅工事に伴う調査で確認された遺跡で、平成26年に発掘調査が行なわれました。この遺跡でもシュブノツナイ式土器をはじめ、多くの縄文土器が発見されました。信部内は、湧別の縄文文化のくらしを知る上で、とても重要な地区です。



遺跡番号	遺跡名	主な所在地	年代
33	シブノツナイ遺跡	信部内37	縄文・擦文文化
55	シブノツナイ2遺跡	信部内587ほか	縄文文化

右図1はシュブノツナイ式土器の名が初めて論文で発表された時(昭和33年)に、基準となる土器として示されたものです(標準資料)。シブノツナイ遺跡の周辺で発見されました。

右図2はシブノツナイ2遺跡の発掘調査で発見されたもので、現在郷土館で実物を展示しています。



湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2023年6月号 No.161

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…中湧別印刷(中湧別南町)発行…令和5年6月26日

記事へのお問い合わせは下記へ

* 社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

* 湧別図書館…電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

* 中湧別図書館…電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

* ふるさと館 JRY…電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200

※湧く湧くで紹介する事業の予定は、今後の社会情勢によっては、中止や延期となる場合もあります。ご了承ください。